

事例No.55 博物館の膨大な収藏品データの一元管理

事業所名 企業名	三重県総合博物館 公式ホームページ：http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/				
所在地	津市	従業員数	35名	産業分類	その他

【事例の詳細】

機能	情報管理・情報提供	使用 機器等	PC
取組 内容	<p>博物館にある約52万点に及ぶ収藏品は、幅広い分野に及んでいますが、その膨大なデータをデータセンターで一元管理できるシステムを導入しました。</p> <p>収藏品の検索は当館に設置された専用端末から、インターネットを經由してデータサーバにアクセスして行うことができます。</p> <p>また当館のホームページからもデータサーバにアクセスして検索することができます。</p>		
導入 プロセス	<p>以前は膨大な収藏品データの管理を、資料カードを作成したりエクセルなどでリスト化していましたが、分野ごとにデータの形式が異なり、分野を横断して情報共有することが困難で、全ての情報をデータベースに統合する必要を感じて、データセンターで一元管理できるシステムを導入しました。</p> <p>あわせて、利用者の方々にも、インターネットなどを通じて収藏品検索や収藏品の情報を提供することで博物館を身近に感じていただき、活用していただくことも期待しました。</p>		
成果 効果	<p>このシステムによって、全分野の収藏品情報を共有できるようになり、収藏品管理業務の効率化に結びつきました。検索機能によって利用者の方へのスムーズな情報提供にも役立っています。</p> <p>博物館は、収藏品の収集・保存だけではなく、広く活用されるところに存在意義があります。これらの取組みによって、多くの人に利用され役立つ博物館を目指していきたいと考えています。</p>		



【取組みの狙い】

企業ブランドの強化	品質向上	従業員の成長サポート
独自性・独創性の創造・強化	付加価値の創造・強化	労働環境の改善
商圏・販売チャネル・新規顧客の拡大・開拓	生産・業務効率の向上	勤怠管理の効率化
顧客満足度の向上	生産・業務プロセスの改善	その他
価値・品質の見える化	情報管理の効率化	